ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/04/11 号(As of 2024/04/10)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	151.82
TKY 9:00AM	151.77	1.0858	164.76	1.2677	0.6629
SYD-NY High	153.24	1.0866	165.00	1.2709	0.6631
SYD-NY Low	151.64	1.0729	163.94	1.2521	0.6499
NY 5:00 PM	153.19	1.0742	164.49	1.2539	0.6513

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,461.51	▲ 422.16	日本2年債	0.2300%	0.0100%
NASDAQ	16,170.36	▲ 136.28	日本10年債	0.7900%	0.0100%
S&P	5,160.64	▲ 49.27	米国2年債	4.9720%	0.2304%
日経平均	39,581.81	▲ 191.32	米国5年債	4.6071%	0.2326%
TOPIX	2,742.79	▲ 11.90	米国10年債	4.5446%	0.1840%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,250.00	▲ 390.00	独10年債	2.4280%	0.0615%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,961.21	26.42	英10年債	4.1470%	0.1220%
DAX	18,097.30	20.61	豪10年債	4.1000%	▲0.0990%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,139.17	311.10	USDJPY 1M Vol	9.05%	1.22%
上海総合	3,027.33	▲ 21.20	USDJPY 3M Vol	8.53%	0.55%
NY金	2,348.40	▲ 14.00	USDJPY 6M Vol	8.72%	0.40%
WTI	86.21	0.98	USDJPY 1M 25RR	▲1.67%	Yen Call Over
CRB指数	297.86	1.13	EURJPY 3M Vol	8.44%	0.61%
ドルインデックス	105.25	1.10	EURJPY 6M Vol	8.68%	0.46%

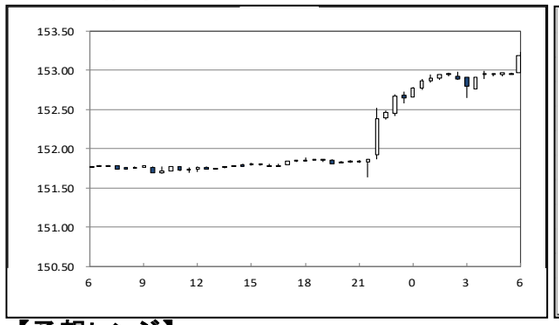
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
4月10日	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	3月	0.4%/3.5%	0.3%/3.4%
	21:45	米	ボウマンECB理事 講演	–	–	–
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	2月	0.5%	0.5%
	23:00	米	卸売売上高(前月比)	2月	2.3%	0.8%
4月11日	01:45	米	グールズビー・シカゴ連銀総裁	「インフレ抑制にはまだ少し道のりがある」		
	01:45	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	「一部セクターにおける物価上昇圧力がなお高すぎる」		
	03:00	米	FOMC議事要旨(3月会合分)	当局者は利下げの前にインフレに対するさらなる確信を求める		

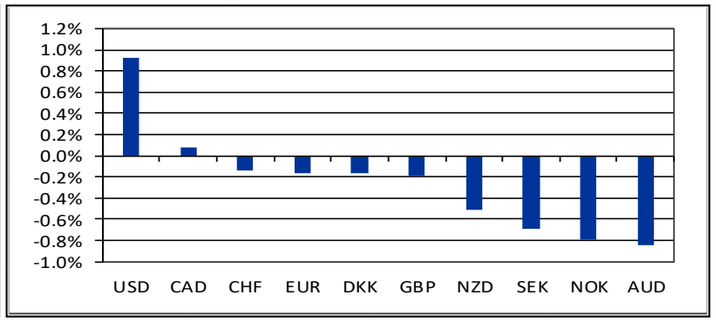
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月11日	10:30	中	PPI(前年比)	3月	−2.8%	−2.7%
	10:30	中	CPI(前年比)	3月	0.4%	0.7%
	21:15	欧	ECB主要政策金利/預金ﾌｧｼﾘﾃｨ・ﾚｰﾄ	11−Apr	4.5%/4.0%	4.5%/4.0%
	21:30	米	PPI (前月比/前年比)	3月	0.3%/2.2%	0.6%/1.6%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	6−Apr	215k	221k
	21:45	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	–	–	–
	21:45	欧	ECBラガルド総裁 会見	–	–	–

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00−154.00	1.070−1.080	164.00−165.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は151.77ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値にかけては5･10日に伴う実需の売り買いが交錯するも、海外時間に公表される米3月CPIの結果を控えて様子見ﾑｰﾄﾞの中、方向感は出ず。13銭程度の狭い値幅で推移し、結局151.80ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、151.80ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午後に米3月CPIを控えて方向性なく小動き。結局、151.84ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は151円台後半でｽﾀｰﾄ。米3月CPIの結果発表を控え、様子見姿勢が広がる中、151.70付近での狭いﾚﾝｼﾞ推移が続き、151.84ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された注目の米3月CPIとｺｱCPI(共に前月比)が予想を上回り、米ｲﾝﾌﾚが依然根強い結果となる。この結果を受けて、米当局による利下げ時期が後ずれする可能性が高いとの思惑から、発表後は買いが優勢となり、152.50付近まで急伸。その後も米長期金利が大台の4.50%を超える展開を背景に、ﾄﾞﾙ買いの流れが続き、152.90近辺まで続伸。午後は低調な米10年債の入札結果を受け、米金利が一段と上昇する中、ﾄﾞﾙ円も152.98まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、一時151.60付近まで反落。続いて発表された米3月FOMC議事録では「当局者は利下げの前にｲﾝﾌﾚに対するさらなる確信を求める」等との文言が示された事から、米金利の再度上昇共に反発。終盤は年初来高値の153.24まで上値を伸ばし、その後153.19ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.08台半ばでｽﾀｰﾄ。米3月CPIの結果発表待ちから、1.0860付近を中心とした値動きが続き、1.0856ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は先述の強い米CPIの結果を背景としたﾄﾞﾙ買い地合いが重しとなり、1.0729まで大幅下落。午後は米金利が引き続き高水準で推移する展開や、ECB4月理事会を明日に控えている事から、1.0740付近を挟んだ狭い値動きが続き、1.0742ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間では米3月CPIの結果を前に仲値にかけては実需のフロー主体の動きとなった。海外時間では朝方の発表された米3月CPI、コアCPIは共に予想を上回り、FRBの利下げ時期後ずれ期待から米金利上昇を伴いながらドル買いが優勢となった。
本日のドル円は底固く推移するものと予想。足許、米国は引き締め局面乍らインフレの鈍化ペースは緩慢なものとなっており、市場では米当局による利下げ時期の後退観測から米金利上昇、為替もドル買いで反応している。ドル円は34年ぶりの高値を更新しており、短期的には上値をトライするような動きとなりやすい一方で為替介入の警戒からボラティリティ(変動率)が高まる局面では当局から牽制の口先介入、レートチェック、実弾介入が入る可能性もあると考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:范・岩下